



10月のPTA役員会お世話になりました! ～行事へのご協力に感謝します～

これから、郡浦神社例祭、黒砂糖づくり、PTA各研究大会等への出席など、保護者の皆様には益々お世話になります。10月2日(水)19:00から10月の役員会を実施しましたが、来週9日(水)に迫っている例祭について、最後の確認を詳細にさせていただきました。現在のところ、天気は何とか大丈夫のようです。当日は、子供神輿等の輸送、神輿行列の先導、奉納相撲のお手伝いや審判、交通指導、写真撮影など、多岐にわたってご協力いただくことになっております。平日常つお忙しい中にご協力をいただきます。何卒よろしく願いいたします。

なお、例祭当日は、馬場地区内の一部道路が全面通行止めになりますのでご注意ください。(9:00-10:30) また、追加のお知らせですが、宇城市PTA連合会で「ファミリー読書推せん文コンクール」が実施されます。すでに用紙は配付しておりますが、現在のところ応募がとて少ないのでどうぞふるって応募をお願いします。(締め切りは10月18日(金)です)



前途洋々

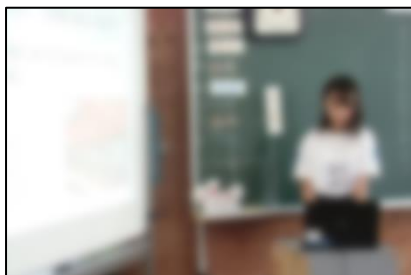
郡浦神社例祭の事前学習

～5・6年生は本みこしを担ぎます～

「馬が怖くて車からおりきらんだった(笑)。」まだお祭りで流鏝馬があっていたころのお話。私の息子はまだ小さく小学校に上がる前だったのですが、父が子守の最中に息子を流鏝馬見物に連れて行った日の話です。これが、私にとって一番新しい例祭にまつわるエピソードです。前川宮司様によると、20年ほど前に流鏝馬は一度復活し、10年ほど続いたとのことですから、その時期のお話ですね。私も年齢を重ね、例祭とはずっと縁遠くなっていました。しかし、再びこのように関わる機会を得たいへんうれしく思っています。家は、近くはありませんでしたが、よく神社の敷地内で遊んでいたことも思い出します。

さて、コロナ禍を経て、昨年度から、再び本校からも子供たちが参加できるようになった例祭。9日(水)の本番に先駆けて、3日(木)に、5・6年生が、本神輿担ぎの練習と郡浦神社の歴史を学ぶ事前学習のため、馬場公民館に出向き、前川宮司様にご指導をいただく予定でした。しかし、当日が小雨で神輿を外に出すことができなかつたため、宮司様に学校においていただき学習を進めました。ご存じのとおり、本神輿はかなり重く、保護者の方々にも手伝ってもらう必要があります。子供たちは、きっと歴史の重みも同時に感じるのではないかと思います。

神社や地域の歴史、祭りの意味など詳しく教えていただき、また子供たちからの質問にも答えていただきました。郡浦神社は阿蘇神社の3摂社の一つ(あとは健軍神社と甲佐神社)。由緒ある神社で、ずっとこの地域とともに歴史を重ねてきたシンボリックな存在ともいえます。ちなみに、「三角町史」を見ると、「郡浦神社の創建年代は定かではないが、蒲智比咩(かまちひめ)神社がその前身と考えられるので、元慶二年(874年)、平安時代の初期にその萌芽を見ることができる」とありました。ずいぶん古い歴史を持つことが分かりますし、「三角町史」には、各時代の変遷が記されており、大変興味深いものです。また、6年生の子供たちは、総合的な学習の一環で、神社について調べ、プレゼンを作成し、5年生に説明してくれました。こちらもとても興味深い内容でしたよ!



プレゼンをする6年生



宮司様のお話に聞き入る子供たち



お話をしてくださる前川宮司様